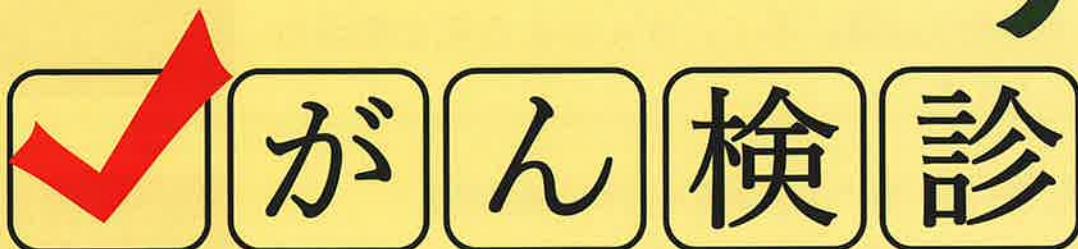


# 忘れず

2人に1人が  
がんに罹る可能性がありますが  
早期発見で約9割が治癒します。



がん検診 チェック



埼玉県のがん対策を  
推進します



本リーフレットは、「埼玉県におけるがん啓発・がん検診受診率向上に  
向けた包括的連携に関する協定」に基づく啓発活動として制作しました。

がんは昭和56年以降埼玉県の死因の第1位であり、4人に1人の県民ががんで亡くなっています。

また、早期発見・早期治療により、がんは治せる病気になりつつあります。

初期のがんにはほとんど自覚症状がなく、早期発見のため、定期的にがん検診を受診することが大切です。

県では、協定を締結した民間企業や団体と協力して、がん検診の重要性などの普及啓発活動や、  
がんに関する正しい知識の普及啓発に取り組んでいます。



協定企業・団体一覧

# 国が推奨するがん検診は次の5種類です

次のがん検診は、死亡率を減少させることができることが科学的に証明された有効な検診です。

受診の時期も併せて確認しましょう。

## ☑ 肺がん検診(肺のX線検査、痰の検査(対象者のみ))

罹患する人は40歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

※特に喫煙者は非喫煙者と比べて男性は約4倍、女性は約3倍肺がんになりやすく、受動喫煙も肺がんのリスクを2~3割程度高めます。

40歳以上の方は  
毎年受診

## ☑ 大腸がん検診(便潜血検査)

罹患する人は40歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

40歳以上の方は  
毎年受診

## ☑ 胃がん検診(胃のX線検査又は胃内視鏡検査)

罹患する人は50歳代以降に多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

50歳以上の方は  
2年に1度受診

## ☑ 乳がん検診(マンモグラフィ検診)

40歳以上の女性では、最も罹患する人が多いがんであり、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

40歳以上の方は  
2年に1度受診

## ☑ 子宮頸がん検診(子宮頸部の細胞診※1又はHPV検査単独法※2)

罹患する人が女性のがんの中でも比較的多いがんです。

20歳代後半から増加しはじめ、特に30~50歳代で多くなります。

※2 HPV検査単独法の受診方法等の詳細については、お住まいの市町村のがん検診担当窓口にお尋ねください。

20歳以上の方は  
2年に1度受診※1

## Q. がん検診はどこで受けられるの？

A. 市町村から委託を受けた医療機関などで受けることができます。

検診の対象となる年齢や実施時期、検査を行う場所、費用負担は、自治体によって異なります。詳細はお住まいの市町村のがん検診担当窓口にお尋ねください。



市町村のがん検診窓口  
一覧はこちちら



がんについて詳しく  
知りたい方はこちちら  
(がん情報サービス)

